

(別記第4号様式)

富津市パブリックコメント手続実施結果報告書

令和6年1月12日

市民の皆さんからいただいたご意見、これに対する市の考え方などを取りまとめましたので公表します。

施策等の名称	富津市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）（案）	
実施期間	令和5年11月29日～令和5年12月28日	
意見の件数	7件	
	意見の内容	意見に対する市の考え方
	別紙のとおり	別紙のとおり

施策等の案についてのお問い合わせ先

富津市役所市民部環境保全課環境保全係

住所：〒293-8506 富津市下飯野2443（市役所本庁舎1階）

電話：0439-80-1274 ファクシミリ：0439-80-1687

電子メール：info@city.futtsu.chiba.jp

富津市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）（案）に係る意見の内容と意見に対する市の考え方

No.	意見の内容	意見に対する市の考え方
1	<p>何よりお願いしたいのは、『安全第一で、お願いします』ということです。 「電気自動車(EV)は、災害に弱い」と言われていますし、“発火”の問題も指摘されています。 “ハイブリッド”の方が、優れていると思いますし、“国産”の方が、安全性が高いと思います。 また、太陽光発電は、特に、メガソーラーでは、大量の森林伐採で、はげ山を作って(=自然破壊・景観悪化)、土砂崩れが起こるのではないかと(=人災)ということが心配されていますし、20～30年で駄目になる、有毒物質を含む、リサイクル出来ないソーラーパネルの廃棄物をどうするのか、どこに埋める気か(=エコじゃない・SDGsじゃない)、という問題もあります。 最近の熊の多発も、太陽光発電乱発のせいではないかということが言われています。 ソーラーパネルに関しては、特に、中国製は、その多くが、ウイグル人の強制労働で作られていて、それを使うことは、ウイグル人の強制労働に、間接的に加担することになると言われています。そんなこと(人権侵害に加担)をして、良いと思いますか？ 風力発電についても、自然破壊や、動物への悪影響が懸念されています。 “上から来るもの”の中には、知らないでやると、ひどいことになるもの(LGBTや外国人移民など)もありますので、それをやった場合のリスクを十分に調べて、「危険なものはやらない」という態度も、市として、必要だと思います。 富津市のためですし、日本のためですし、世界のためです。(他の自治体にも影響します) 「深刻なリスクがあるということに気付かない」ということは、“あってはならないこと”ですし、「深刻なリスクがあるということを知りながら推進する」というのは、“悪の極み”であると思います。 何より、安全第一の観点を忘れないようにお願いします。</p>	<p>再生可能エネルギー等の導入にあたっては、安全性や環境保全に十分に配慮したなかで、事業の推進に努めてまいります。</p>
2	<p>富津市地球温暖化対策実行計画を拝見しましたので意見を以下に述べます。 “計画”と言っていますが、30年、50年に向けたCO2削減ロードマップはどこにあるのでしょうか？ 例えば、ブルーカーボンに言及していますが、どの浅瀬でいつまでにどの面積を使用し、どの程度の効果を期待しているのか。 アマモ(だと思いますが)が成長した後は、どう回収・利用(あるいは破棄)するのか。 電気自動車利用とありますが、充電ステーションはどこにどの程度設置し、その導入コスト試算はしていますか？そもそも電気自動車は、日本の電力事情でLCAで考えた際に、本当にEV化がCO2フリーにつながるのか？FCVといいますが、水素ステーションはいつ、どこにどれだけ設置するのでしょうか？ 掛け声だけの無為な資料・ロゴを作製しても意味がありません。その分、財政再建で上げた職員削減を計画通りに実施すべきです。 CN理解がおぼつかない場合、まずは、職員全員公共交通機関を使つての通勤から始めたらいかがでしょうか。</p>	<p>当計画に掲げた基本施策を着実に実行するための具体的な方策等については、各所管課において計画立案し、庁内組織である「富津市地球温暖化対策実行計画検討委員会」において協議を行ってまいります。</p>
3	<p><第1章 計画策定の基本的事項> 2 計画の位置付け (P. 2) ●本市の主な関連計画 富津市みらい構想 富津市環境基本計画 富津市一般廃棄物処理基本計画(富津市食品ロス削減推進計画) ・上記に賛同するとともに、以下の内容を追記することを提案いたします。 ○本市の主な関連計画 富津市みらい構想 富津市国土強靱化地域計画 富津市環境基本計画 富津市一般廃棄物処理基本計画(富津市食品ロス削減推進計画) 富津市都市計画マスタープラン (理由) 本文に「富津市の各種関連計画と連携・整合を図ったなかで、計画を推進します」と記載されておりますが、「富津市国土強靱化地域計画」「富津市都市計画マスタープラン」は「富津市みらい構想」「富津市環境基本計画」「富津市一般廃棄物処理基本計画」と並ぶ計画と考えます。明確に記載することにより、計画の位置付けがよりわかりやすいものになると考えます。</p>	<p>本計画に関連する本市の主な計画については、ご意見いただいた計画以外にも多数あることから、市の計画や施策体系の最上位である「富津市みらい構想」と環境関連の計画を代表として記載しております。</p>

No.	意見の内容	意見に対する市の考え方
4	<p><第1章 計画策定の基本的事項> 6 地球温暖化の背景 (3) 日本の出来事 ◎表1.2地球温暖化に関する日本の主な出来事(説明) (P.9) ●2022年まで表に記載 ・上記に賛同するとともに、以下の内容を追記することを提案いたします。 ○<u>2023年</u> □ <u>5月 GX推進法、GX脱炭素電源法の成立</u> <u>6月 水素基本戦略を改訂</u> <u>11月 脱炭素先行地域第4弾まで74カ所を選定</u> (理由) 2023年は本計画を打ち出す直前の年であるため、2023年に成立した「GX推進法」、「GX脱炭素電源法」の成立、「水素基本戦略の改訂」「脱炭素先行地域第4弾まで選定」などを記載することにより、よりタイムリーな内容を市民に提供できると考えます。</p>	<p>ご意見のとおり、2023年の内容を追記いたします。</p>
5	<p><第3章 基本理念と施策> 2 ゼロカーボン施策 (1) 施策の基本方針 基本方針①：公共施設・住宅の低炭素化、BCP対応 (P.28) ●施策の基本方針①では、公共施設・企業事務所の低炭素化・ZEB化、住宅の低炭素化・ZEH化、太陽光発電のPPAモデル普及促進を推進します。(図3.5) EMS(エネルギー・マネジメント・システム)によるエネルギー利用の最適化や、LED等の省エネ機器の導入によるエネルギー消費量の削減、太陽光発電・蓄電池導入による再生可能エネルギーの有効利用による脱炭素化を目指します。太陽光発電・蓄電池の導入は脱炭素化のみならず、BCP対応に繋がります。 ・上記内容に賛同するとともに、以下の内容を追記することを提案いたします。 ○施策の基本方針①では、公共施設・企業事務所の低炭素化・ZEB化、住宅の低炭素化・ZEH化、太陽光発電のPPAモデル普及促進を推進します。(図3.5) EMS(エネルギー・マネジメント・システム)によるエネルギー利用の最適化や、LED等の省エネ機器の導入によるエネルギー消費量の削減、太陽光発電・蓄電池等の<u>自立分散型エネルギーの導入</u>、再生可能エネルギー・<u>未利用エネルギー</u>の有効利用による脱炭素化を目指します。太陽光発電・蓄電池等の導入は脱炭素化のみならず、BCP対応に繋がります。 (理由) 「基本方針①：公共施設・住宅の低炭素化、BCP対応」とありますように、低炭素化を図ると同時にBCPにも対応することが重要となります。再生可能エネルギーは、気象条件により発電量が安定しないという側面もあるため、再生可能エネルギーを補完するエネルギーが必要と考えます。そのためには、コージェネレーションシステムや蓄電池等自立分散型エネルギーを導入することは有効と考えます。</p>	<p>気象条件で発電量が変動する側面がある再生可能エネルギーを補完するため、蓄電池等の自立分散型エネルギーの導入や未利用エネルギーの有効利用を、ご意見のとおり、追記いたします。</p>
6	<p><第3章 基本理念と施策> 2 ゼロカーボン施策 (2) 今後の具体的な施策・取り組み(基本施策) 《基本施策4》再生可能エネルギー・省エネ設備の導入促進 (P.36) 【主な事業や取り組み】 ●1 住宅用省エネルギー設備等(蓄電池・エネファーム・窓の断熱改修)導入促進事業補助の拡充 家庭における地球温暖化防止の推進に加え、電力の強靱化を図るため、定置用リチウムイオン蓄電システムや窓の断熱改修など、省エネルギー設備等を導入する市民に対し、補助金を交付しています。 省エネルギー設備等普及にあたり、当事業の拡充を検討します。 ・上記内容に賛同いたします。 (理由) 家庭における地球温暖化防止の推進は、非常に重要であると考えます。住宅用省エネルギー設備等(蓄電池・エネファーム・窓の断熱改修)導入促進事業補助の拡充は、大変有効であると考えます。</p>	<p>当計画では市民・事業者・市が一体となり、地球温暖化対策に取り組むことが必要不可欠であるため、市民の温室効果ガス削減に向けた活動に対する支援協力を、引き続き検討してまいります。</p>

No.	意見の内容	意見に対する市の考え方
7	<p><第3章 基本理念と施策> 2 ゼロカーボン施策 (1) 今後の具体的な施策・取り組み（基本施策） 《基本施策4》再生可能エネルギー・省エネ設備の導入促進（P.36） 【主な事業や取り組み】 ●4 公共施設のZEB化（LED照明・太陽光発電・高断熱化・高効率空調等） ZEB（ゼブ）とは、NetZeroEnergyBuilding（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）の略称で、快適な室内環境を実現しながら、建物で消費するエネルギーをゼロにすることを目指した建物のことです。本市の公共施設も可能な限り、ZEB化を目指します。 ・上記内容に賛同するとともに、以下の内容を追記することを提案いたします。</p> <p>○4 公共施設のZEB化（LED照明・太陽光発電・高断熱化・高効率空調等） ZEB（ゼブ）とは、NetZeroEnergyBuilding（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）の略称で、快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する<u>年間の一次</u>エネルギーの<u>収支</u>をゼロにすることを旨とした建物のことです。本市の公共施設も可能な限り、ZEB化を目指します。 （理由） 環境省のHPにZEBの説明として「建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを旨とした建物」と記載されており、このまま引用した方がわかりやすく、意味合いとしても正しいと考えます。また、公共施設のZEB化は、非常に重要であると考えます。公共施設は省エネ設備の導入促進と同時に災害時の避難所機能等、BCP対応が必要な施設と考えています。太陽光発電等の再生可能エネルギーは枯渇することなく繰り返し利用できますが、気象条件の影響を受けやすい不安定なエネルギーです。災害時にエネルギーを途絶させないためにも、再生可能エネルギーの種類を組み合わせることや、エネルギーの多様化は重要であり、コージェネレーションシステムの導入等でZEB化を目指すことは有効であると考えます。＜参考資料：環境省ホームページより引用＞</p>	<p>ご意見のとおり、環境省ホームページのZEBの説明のとおり追記いたします。</p>